

今年の夏は長梅雨で、てっきりそのままお盆参りの時期に突入してしまうのかと思いきや、結局 8 月に入ると例年通りの酷暑となりました。そしていまだに暑く、体調を崩された方やそうでなかった方も、もうしばらくご自愛いただければと思います。さてそのお盆参り中に多くあった話題に、今年も触れたいと思います。

『お寺さんが始められた「合同月参法要会」は、

『どういう時に申し込みをさせてもらえれば良いのでしょうか。』

まず最初に、近年同じような「合同で」月参のお供養を行うお寺が増えてきました。しかしそのほとんどは、これまでのお家の仏壇にお参りさせていただく月参りをやめて、まとめてお寺にきていただくために「合同」とされているようです。

しかし当寺院の場合は、

- ・ 自宅がお寺から遠いため、お参りいただくことを遠慮していた。
- ・ 自分自身が高齢となったため、月参りの準備が難しくなった。
- ・ 親から仏壇を引き継いだのでお参りして欲しいが、仕事があって難しい。

と言ったお家の方のために、月参りの方法の選択肢を増やただけで、お家にお参りする月参りもこれまで通りお勤めさせていただいております。

また上記以外にも、これまですでに 2 回お勤めさせていただいた合同法要に申し込まれたお家には、「法事をしたいがコロナ感染の問題でできない。」といったものや、「お命日だからお供養して欲しいが、都合がつかない。」「お盆だからお供養してあげて欲しい。」など、その理由は様々です。

このように、必ず毎月お申込みいただく必要はございません。また毎月必ず申し込みしたいというお家の方は、まとめてお申込みいただいても構いません。お寺と檀家という関係ですからあまり拘子定規に考えず、お供養したいというそのお気持ちをそのままお寺にお伝え下さればと思います。またその他、この法要に関してご質問等ございましたら遠慮なくお問い合わせ下さい。

そしてご参詣いただける方は、是非ともお越し下さいませ。

(塔婆をご用意しますので、お電話でも結構ですので事前にお申込みをお願い致します。)

● 合同月参法要会 毎月 1 日 午前 11 時開始 ご回向布施：3,000 円

・ 直接お振込みいただける場合は、

〔郵便振替口座〕 加入者名：普照院

口座番号：00950 - 6 - 171056

## 京都・永観堂「見返り阿弥陀」

～住職のおススメ仏像 其の1～

今年の夏にドタバタで始まった「GOTO キャンペーン」。私はお盆でしたので全く旅行には行けませんでした。今の京都は外国人観光客が入国することができないために、旅行者がほとんどいないそうです。

そんな京都に、私が自分のお寺のご本尊ほんぞん「阿弥陀如来像」の次に大好きな仏像があります。それが右の写真で、「見返り阿弥陀」と呼ばれる『後ろを振り返ったようなお姿をした』とても珍めづらしい阿弥陀如来像です。

この「見返り阿弥陀」は、京都市東山にある「浄土宗せいざんぜんりんじ西山禅林寺派えいざんどうぜんりんじ」の総本山・永観堂 禅林寺で拝見することができます。



**見返り阿弥陀の由来** 永保2年(1082)、永観(禅林寺7代目住職)50歳のころである。2月15日(お釈迦様のお命日)払暁、永観は底冷えのするお堂で、ある時は正座し、ある時は阿弥陀像のまわりを行道ぎょうどう(念仏を称えながら歩くこと)していた。すると突然、阿弥陀像だんが壇を下りて永観を先導せんどうし行道をはじめられた。永観は驚き、呆然と立ちつくしたという。この時、阿弥陀は左肩越しに振り返り、

「永観、おそし」

と声をかけられた。永観はその尊とうとく慈悲深じひぶかいお姿を後世に伝えたいと阿弥陀に願われ、阿弥陀如来像は今にその尊容そんようを伝えると言われている。

### 【永観堂へのアクセス】

- ・JR 京都駅から市バス5系統「南禅寺永観堂道」下車、徒歩3分。
- ・JR 京都駅から市バス100系統「東天王町」下車、徒歩8分。
- ・地下鉄東西線「蹴上」下車、徒歩15分。

〔編集後記〕先日ある禅宗の僧侶に教えていただいたのですが、今年百回忌を迎える方が例年より多めで、それは当時世界的に流行した「スペイン風邪」が原因だそうです。そしてその時も世界は大混乱となりましたが、当時の人々の努力の甲斐あって、3年ほどでその混乱は沈静化しました。現代を生きる人々は先人たちがその疫病を克服してくれたおかげで存在し得たのですから、我々も未来の人々の模範になり、立派にこのコロナを克服したことを後世に示さなくてはなりません。戦うべきはコロナであり、人と人ではありません。冷静にこの難局を皆さんの利他の心で乗り越えましょう。

合掌

発行；[時宗 慈光山 普照院] 責任者 小田義宗

☎652-0853 神戸市兵庫区今出在家町4-1-29

電話 078-671-1787 ファックス 078-330-1187

ホームページ <http://fusyojin.com/>



普照院

検索



これからは、お寺もどんどん情報を発信します。

とくに次世代をになう、若い方々・お子様たちに教えてあげてください。